

2015年2月9日

盛岡市長 谷藤 裕明 様

日本共産党盛岡市議会議員団

庄子 春治

鈴木 礼子

高橋 和夫

神部 伸也

鈴木 努

## 政府補正予算における「地域住民生活等緊急支援のための交付金」 の活用に関する緊急要望書

2月3日に政府の「2014年度補正予算」が成立しました。

今回の補正予算は、「アベノミクス」による実質賃金の低下に加え、消費税増税や物価の上昇など国民生活が深刻になるもとで打ち出された「緊急経済対策」です。総額で3兆1,180億円ですが、日本経済の再生に必要な国民の家計を温めるものとはなっておらず、2,110億円の軍拡予算を盛り込んでいることは重大であり、断じて許されるものではありません。

しかしながら、これまで手が届かなかったソフト事業等に使える「地域住民生活等緊急支援のための交付金」は着目すべきものであり、この交付金の活用によって市民生活を応援する取り組みは重要です。同交付金は2つの区分となっており、「地域消費喚起・生活支援型」は2,500億円の予算規模で、自治体や商店街による商品券の発行や低所得者向けの灯油購入助成などに使えるとしています。もう一つの「地方創生先行型」は1,700億円で、Uターンした現役世代を雇った企業への助成や創業・販路開拓支援、観光振興などを例示しています。

盛岡市に交付される試算額は、「地域消費喚起・生活支援型」で4億4,500万円、「地方創生先行型」で1億4,400万円と伺っております。これらを活用し、切実な市民要望にこたえる支援策を講じられるよう、以下要望します。

### 記

- 1、住宅リフォーム助成を復活すること。
- 2、低所得者世帯へ灯油購入助成および「おこめ券」の配布を行うこと。
- 3、東日本大震災被災者への灯油購入助成および物資支援の強化をすること。

- 4、一時保育や病児・病後児保育などのサービスに使える「子育て応援券」を発行し事業化すること。
- 5、インフルエンザ予防接種助成の対象を拡大し、小学生・中学生も対象にすること。
- 6、保育料について、第3子無料化を実施すること。
- 7、要保護・準要保護世帯を対象に、修学旅行の「おこずかい」を支援すること。
- 8、紙おむつなど介護関連用品の購入助成およびホームヘルプサービスの時間延長など介護サービスの購入助成をすること。
- 9、福祉タクシー券の上乗せ支給、精神障がい者へのバス運賃助成を行うこと。
- 10、障がい者就労施設へ製品の販売促進支援を行うこと。
- 11、鳥獣被害対策として駆除用具の購入助成および「わな講習」などの受講費助成を行うこと。
- 12、盛岡の伝統産業の後継者育成支援を行うこと。

以 上